

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-41394

(P2002-41394A)

(43) 公開日 平成14年2月8日 (2002.2.8)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 13/00
17/60

識別記号

5 4 0
Z E C
3 2 6

F I

G 0 6 F 13/00
17/60

テーマコード(参考)

5 4 0 P 5 B 0 4 9
Z E C
3 2 6

審査請求 有 請求項の数10 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2000-222527(P2000-222527)

(22) 出願日 平成12年7月24日 (2000.7.24)

(71) 出願人 000151092

株式会社電通

東京都中央区築地1丁目11番10号

(72) 発明者 鈴木 岳

東京都中央区築地一丁目11番10号 株式会
社電通内

(72) 発明者 森 尚久

名古屋市中区錦二丁目2番地24号 株式会
社インターリンク内

(74) 代理人 100096840

弁理士 後呂 和男 (外1名)

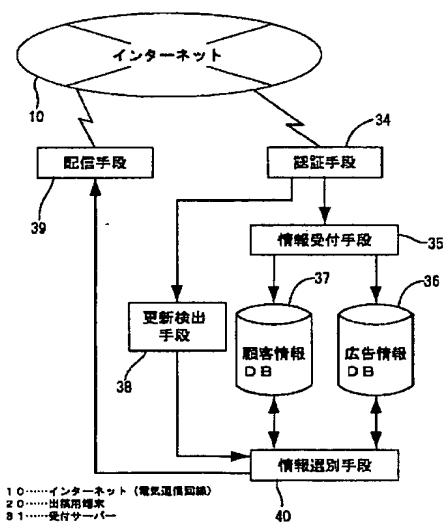
Fターム(参考) 5B049 AA06 BB49 EE05 FF01 GG00

(54) 【発明の名称】 サーバー主導型情報配信方法及びサーバー主導型コミュニケーションシステム

(57) 【要約】

【課題】 情報の配信をタイムリーに行って、期間限定性や地域限定性が高い情報の配信に適合させる。

【解決手段】 サーバーから、これとインターネット10を介して接続された複数のクライアント端末50に対して情報を配信する。サーバーは、広告主等の情報提供者からインターネット10を介して送信された広告情報を受け付けて広告情報データベース36に蓄積する。情報提供者から情報が送信されたことを更新検出手段38により検出し、これをトリガーとして広告情報データベース36内の所要の広告情報を情報選別手段40によって選別してクライアント端末50に配信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 サーバーから、これと電気通信回線を介して接続された複数のクライアント端末に対して情報を配信するための方法であって、前記サーバーは、広告主等の情報提供者から電気通信回線を介して送信された情報を受け付けて情報蓄積手段に蓄積し、前記クライアント端末には前記情報提供者から情報が送信されたことをトリガーとして前記情報蓄積手段に蓄えられた情報を送信することを特徴とするサーバー主導型情報配信方法。

【請求項2】 前記サーバーが情報を送信する際には、前記クライアント端末毎のデータとして記憶された情報選別条件に適合する情報のみを当該クライアント端末に送信することを特徴とする請求項1記載のサーバー主導型情報配信方法。

【請求項3】 前記情報選別条件には、前記クライアント端末が設置されている地域に関する情報を含むことを特徴とする請求項1又は2記載のサーバー主導型情報配信方法。

【請求項4】 電気通信手段を介して接続された複数のクライアント端末にサーバーから送信した情報を表示させるものにおいて、

前記サーバーは、広告主等の情報提供者から電気通信回線を介して送信された情報を受け付ける情報受付手段と、受け付けた情報を蓄える情報蓄積手段と、前記情報受付手段に情報提供者から情報が送信されたことを検出する更新検出手段と、この更新検出手段により前記情報提供者からの新規情報の送信を検出したことをトリガーとして前記情報蓄積手段に蓄えられた情報を読み出して前記電気通信回線を介して端末に送信する配信手段とを備えることを特徴とするサーバー主導型コミュニケーションシステム。

【請求項5】 サーバーと、これと電気通信手段を介して接続された複数のクライアント端末とからなり、前記サーバーは、広告主等の情報提供者から電気通信回線を介して送信された情報を受け付ける情報受付手段と、受け付けた情報を蓄える情報蓄積手段と、前記情報受付手段に情報提供者から情報が送信されたことを検出する更新検出手段と、この更新検出手段により前記情報提供者からの新規情報の送信を検出したことをトリガーとして前記情報蓄積手段に蓄えられた情報を読み出して前記電気通信回線を介して端末に送信する配信手段とを備え、前記クライアント端末は、前記サーバーの配信手段から送信された情報をディスプレイに表示する中央処理装置を備えることを特徴とするサーバー主導型コミュニケーションシステム。

【請求項6】 前記サーバーは、さらに、前記クライアント端末毎の情報選別条件を記憶する選別条件記憶手段を備え、前記情報蓄積手段に蓄えられた情報のうち前記情報選別条件に適合する情報のみを前記配信手段から当

該クライアント端末に送信することを特徴とする請求項4又は5記載のサーバー主導型コミュニケーションシステム。

【請求項7】 前記情報受付手段は、送信された情報を画像ファイルとして出力するファクシミリ受信手段と、このファクシミリ受信手段から出力された画像ファイルから文字を認識して電子データとして出力する文字認識手段とを備えてなることを特徴とする請求項4ないし6のいずれかに記載のサーバー主導型コミュニケーションシステム。

【請求項8】 前記サーバーは、さらに、情報提供者から送信された識別情報を受信し、予め記憶された識別情報と一致するか否かを判断する認証手段を備え、その認証手段において両識別情報の一致が判断されたことを条件に前記情報受付手段において送信された情報を受け付けることを特徴とする請求項4ないし7のいずれかに記載のサーバー主導型コミュニケーションシステム。

【請求項9】 前記クライアント端末は前記サーバーから送信された情報を蓄積する受信情報記憶手段を備え、所定時間以上継続してキーボード等の入力手段からの入力信号がないことを条件に、前記受信情報記憶手段から読み出して前記ディスプレイに表示させることを特徴とする請求項5ないし8のいずれかに記載のサーバー主導型コミュニケーションシステム。

【請求項10】 前記クライアント端末は移動体通信装置であって、前記配信手段は前記移動体通信装置に対して電子メールを配信することを特徴とする請求項5ないし9のいずれかに記載のサーバー主導型コミュニケーションシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えば広告情報をインターネット等を通じて配信するためのサーバー主導型情報配信方法及びコミュニケーションシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年のインターネットの急速な発展により、これを広告媒体として利用することが実用化されている。ところが、一般に、利用者がインターネットを介して広告情報を得ようとする場合には、例えば検索サイトにてキーワードを利用した検索を行うか、ポータルサイトから分類された項目を順次辿って関連するホームページを見つけ出すようにしなくてはならない等、インターネット内から積極的に情報を引き出すスキルが要求される。このため、インターネット初心者にとっては必ずしも使い勝手がよいとは言えず、この点の改善が求められている。

【0003】そこで、利用者の興味がある情報を予め登録しておき、その登録条件に合致する広告のみを利用者に提示する技術も開発されている。例えば特開平9-2

69923号公報には、クライアント端末がサーバーとの通信を時々確立してサーバーに蓄積されている広告情報のうち利用者が興味があるとして登録した条件に一致したものだけを取り込み、クライアント端末のディスプレイに適時表示する技術が記載されている。

【0004】これによれば、インターネット内の情報を検索することに慣れていない利用者であっても、興味がある情報のみを見ることができるから、インターネットを大衆的な広告手段として利用する可能性がでてくる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記方法は、あくまでもクライアント端末側から情報を取得しに行くに過ぎないから、例えばサーバー側において広告情報の更新があったとしても、これは直ちにクライアント端末において反映されるものではない。このことは、企業のイメージ広告のような一般的な内容ならば特に問題がないにしても、例えば広告情報として期間限定性や地域限定性が高い内容、例えばコミュニティイベントの開催広告やスーパーマーケットの特売広告等については、利用し難いという面がある。特に、クライアント端末をインターネットに常時接続する利用態様を考慮すると、インターネットプロバイダを介して必要な時に接続する利用態様に比べてメディアとしての双方向性や同時性が高まるにも関わらず、従来の情報の配信方法ではそれを充分に生かすことができないという問題があったのである。

【0006】本発明は上記事情に鑑みてなされたもので、情報の配信をタイムリーに行うことができ期間限定性や地域限定性が高い情報を配信するに適する情報配信方法及びそのシステムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段及び作用】上記目的を達成するため、請求項1の発明は、サーバーから、これと電気通信回線を介して接続された複数のクライアント端末に対して情報を配信するための方法であって、前記サーバーは、広告主等の情報提供者から電気通信回線を介して送信された情報を受け付けて情報蓄積手段に蓄積し、前記クライアント端末には前記情報提供者から情報が送信されたことをトリガーとして前記情報蓄積手段に蓄えられた情報を送信するところに特徴を有する。この方法では、情報提供者から情報が送信されると、それをトリガーとしてクライアント端末にその情報が配信されるから、サーバー側で蓄積された情報の更新があると、それが直ちにクライアント端末にタイムリーに送信される。この場合、請求項2の発明のように、クライアント端末毎のデータとして記憶された情報選別条件に適合する情報のみを当該クライアント端末に送信することとすると、無駄な情報配信が無くなる上に、情報を受信したものととっても無益な情報が少なくなる。

【0008】なお、情報提供者からサーバーへの情報提

供は、請求項7の発明のように、ファクシミリ受信手段と、文字を認識して電子データとして出力する文字認識手段とを備える構成とすると、情報提供者の自由度が高まる。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態について図面を参照して説明する。システムの全体的構成は図1に示す通りである。

①情報提供者である広告主の出稿用端末20、

②広告を配信する配信事業者のサーバー群、

③広告の配信を受ける利用者のクライアント端末50の3種類のコンピュータ群が電気通信回線により構成されたインターネット10につながっている。これらのコンピュータ群はいかなる形態でインターネット10に接続されてもよいが、一般的には配信事業者のサーバー群は専用線接続され、利用者のクライアント端末50は、例えばCATV会社等のプロバイダ事業により提供される常時接続サービスを介してインターネット10に接続されていてもよい。

【0010】さて、配信事業者のサーバー群は、ハードウェア的にはファイアウォール30を介してインターネット10に接続された受付サーバ31、データベースサーバ32、及び配信サーバ33からなり、これらによって実現される機能は図2に示されている。同図において、34は受付サーバ31が構成する認証手段であり、これは広告主が有する出稿用端末20及び利用者が有するクライアント端末50から通信要求が出されたときに、各端末からその端末特有の識別情報を受け取り、これを予め記憶されている識別情報と比較し、両者が一致することを条件に通信を許可する。

【0011】35は情報受付手段であり、これは広告主の出稿用端末20から送られた情報を取り込み、これらを情報蓄積手段である広告情報データベース36に蓄積する。この広告情報データベース36のデータ構造は、例えば図3に示す通りである。ここで「広告種別」のフィールドには、当該広告がどのような商品に関連するものであるか(例えば、車、不動産、日用品、食料品、書籍、CD、旅行…等)が分類されてその種別コードが記載されている。また、「配信開始日」のフィールドには当該広告の配信を開始する予定の日時データが記載され、「配信終了日」のフィールドには当該広告の配信を終了すべき予定の日時データが記載され、「配信希望地域」のフィールドには当該広告の配信を希望する地域が記載されている。そして、「広告情報」のフィールドには、当該広告の内容であるファイルのファイル名が記載され、「関連情報」のフィールドにはその広告情報に関連する画像、音声或いは動画ファイルのファイル名が記載されている。

【0012】一方、顧客情報データベース37のデータ構造は例えば図4に示す通りで、「顧客ID」及び「バ

スワード」の認証用の識別情報、「氏名」、「生年月日」、「住所」及び「職業区分」等の個人属性情報並びに「好みの広告種別」及び「好みの広告主」等の嗜好情報等のフィールドを備える。これらのうち、上記個人属性情報及び嗜好情報は、クライアント端末50毎の情報選別条件に相当するもので、従って顧客情報データベース37が選別条件記憶手段に相当する。

【0013】38は更新検出手段で、これは前記情報受付手段35において出稿用端末20から広告情報の送信又は更新を受け付けたことを検出して配信手段39にその情報を渡す。

【0014】配信手段39は、上記更新検出手段38によって広告情報の送信又は更新が検出されたこと、又は、クライアント端末50から広告情報の送信要求があったときに、情報選別手段40によって所定の条件で選別した広告情報をインターネット10を介して所定のクライアント端末50に配信する。この情報選別手段40は、任意の情報選別条件に合致する広告情報を選択することができる。

【0015】一方、クライアント端末50は汎用のパーソナルコンピュータであって、図5に示すように、キーボード、マウス等の入力装置51、中央処理装置52及びディスプレイ53の他、インターネット10との間で通信を行うための通信制御装置54及び受信した広告情報を一時記憶するための受信情報記憶装置55を備える。中央処理装置52はワードプロセッサやブラウザ等のアプリケーションソフトの実行を制御すると共に、本システム専用のクライアントソフトがインストールされた状態では、次のような機能を有する。

【0016】このクライアントソフトはクライアント端末50の電源が投入されると自動実行され、他のアプリケーションソフトがアクティブである場合にはバックグラウンドで実行され、入力装置51において所定時間以上、入力操作が行われないときには、後述する画面構成でディスプレイ53に表示動作を行ういわゆるスクリーンセ이버として動作する。また、このクライアントソフトは、起動すると通信制御装置54を介して配信事業者側の受付サーバー31に接続し、顧客ID及びパスワードを認証手段34に与える。また、配信事業者側の配信サーバー33から広告情報がこのクライアント端末50に配信されると、そのクライアントソフトがアクティブになって画面制御を行っている場合には、配信された広告情報を直ちにディスプレイ53に表示し、バックグラウンド動作を行っている場合には、配信された広告情報をいったん受信情報記憶装置55に記憶し、アクティブになってからこれをディスプレイ53に表示するようになっている。

【0017】なお、出稿用端末20も汎用のパーソナルコンピュータであるが、専用の出稿用ソフトがインストールされており、同ソフトウェアを起動させて配信事業

者の受付サーバー31に接続することにより、広告情報データベース36の作成及びその更新を行うことができる。

【0018】さて、本システムのソフトウェア的構成について図6以下のフローチャートも参照して説明する。

(1) 出稿用端末20との通信

出稿用端末20から通信要求が入力されると、出稿用端末20において顧客ID及びパスワードの入力画面が表示され(ステップS100)、入力された識別情報に基づいて受付サーバー31において認証が行われる(ステップS101)。認証を通過すると、トップメニューとなり、「マスター情報更新」、「広告情報新規作成」、「広告情報更新」及び「終了」の選択肢が示される(ステップS102)。ここで「マスター情報更新」を選択すれば、「広告主名」、「広告主住所」、「広告主電話番号」等の広告情報データベース36のうちのマスター情報を入力できる。また、「広告情報新規作成」を選択した場合には、広告情報データベース36のうちの広告情報の内容を新規に登録することができ(ステップS103)、「広告情報更新」を選択した場合には、広告情報の一覧が表示され(ステップS104)、そのうちの一つを選択することで内容の編集を行うことができる(ステップS105)。そして、広告情報の内容を新規に登録した場合、及び、内容の編集を行った場合には、更新検出手段38が作動して更新フラグが1にセットされる(ステップS106)。

(2) クライアント端末50との通信

【0019】一方、クライアント端末50の電源が投入されると、本システムのクライアントソフトが実行され、通信制御装置54を介して配信事業者側の受付サーバー31に接続され、顧客ID及びパスワードが認証手段34に送信される。顧客ID及びパスワードによって認証が得られると、当該クライアント端末50のIPアドレスが取得され、これが受付サーバー31によって顧客情報データベース37のIPアドレスのフィールドに書き込まれる。

【0020】さて、この状態で上述のようにして更新フラグがセットされると、その広告情報について図7に示す配信ルーチンが実行される。ここでは、まず広告情報データベースに問い合わせて当日が「配信開始日時」以降であるか否かであるかを判断し(ステップS201)、yesの場合に当日が「配信終了日時」以前であるか否かを判断する(ステップS202)。そして、双方ともにyesとなる場合に、顧客情報データベースに問い合わせて配布先リストを作成する(ステップS203)。配布先リストは、例えば以下の条件を満たす顧客のリストである。すなわち、(A)「好みの広告種別」に、更新フラグがセットされた当該広告情報の広告種別が含まれる、又は(B)「好みの広告主」に、更新フラグがセットされた当該広告情報の広告主コードが含まれ

るものであって、かつ、当該広告情報の配信希望地域に一致する住所を有する顧客である。この配布先リストには、顧客氏名とIPアドレスとが含まれており、次のステップS204にてそのIPアドレスに向けて更新された広告情報が送信され、更新フラグがリセットされる(ステップS205)。

【0021】これにより、クライアント端末50においてクライアントソフトがアクティブになって画面制御を行っている場合には、配信された広告情報は直ちにディスプレイ53に表示される。また、クライアント端末50においてクライアントソフトがバックグラウンド動作を行っている場合には、配信された広告情報は受信情報記憶装置55に記憶され、同ソフトがアクティブになったときに広告情報がディスプレイ53に表示される。

【0022】なお、クライアント端末50において広告情報の検索操作を行うことができ、例えば所望のキーワードを入力して広告情報データベース36内から広告情報を引き出すことができる。また、クライアント端末50に配信された広告情報は全て受信情報記憶装置55に記録されると共に、その一覧表が表示されるようになっており、一覧表から選択して所望の広告情報を再度表示させることができる。

【0023】以上述べた本実施形態によれば、次のような効果が得られる。例えば、あるスーパーマーケットがタイムサービスとして特定の時間帯で特定の商品についてディスカウントセールを行うことを決定し、その広告を行おうとする場合には、次のように本システムを利用することができる。まず、広告主は、出稿用端末20において広告内容を作成し、インターネット10を介して配信事業者のホームページに接続して広告内容を転送する。これとともに、その広告の「配信開始日時」、「配信終了日時」、「配信希望地域」等を指定しておく。

【0024】すると、その広告情報は配信事業者側のデータベースサーバ32内に記憶されると共に、更新検出手段38において更新(新規作成)が検出されて更新フラグがセットされるから(ステップS106)、これをトリガーとして図7に示す配信ルーチンが開始される。そして、広告開始日時に達すると、広告内容が各クライアント端末50に一斉に配信されるから(ステップS204)、その広告内容が各クライアント端末50のディスプレイ53に表示される。なお、配信時点でクライアント端末50のクライアントソフトがアクティブになっていない場合には、それがアクティブになったときにディスプレイ53に表示される。また、広告内容の更新(又は新規作成)した時点で、配信を直ちにしたい場合には、配信開始日時として過去の日時を登録すれば、更新(又は新規作成)した時点で直ちに各クライアント端末50に広告内容が配信される。

【0025】しかも、広告の配信にあたっては、利用者

が予め興味があるとした広告種別或いは広告主と一致する広告情報だけが、そのクライアント端末50に配信されるから、無駄が無く、かつ、広告効果が高いものとなる。さらには、その情報選別条件として地域に関する情報、すなわち住所と配信希望地域とが一致するものだけを配信するようにしているから、無駄な地域への機械的な配信をなくすことができ、広告効果が一層高くなると共に、地域に密着した広告媒体としての価値が高くなる。

【0026】なお、本発明は上記記述及び図面によって説明した実施の形態に限定されるものではなく、例えば次のような実施の形態も本発明の技術的範囲に含まれ、さらに、下記以外にも要旨を逸脱しない範囲内で種々変更して実施することができる。

【0027】(1)上記実施形態では、クライアント端末として汎用のパーソナルコンピュータを利用する形態を説明したが、これに限らず、例えば携帯電話機等の移動体通信装置や携帯型の個人情報機器(PDA)等であってもよい。移動体通信装置の場合は、携帯電話用のインターネット技術を利用して配信事業者のホームページに接続するようにしてもよく、また、広告の配信には電子メールを利用してもよい。また、クライアント端末としてファクシミリを利用することもでき、この場合には、インターネットを経由せずに公衆電話回線を通じて(或いはインターネットを経由して)、ファクシミリ画像を利用者のファクシミリ装置に配信することもできる。

【0028】なお、クライアント端末がインターネットに常時接続されていることが最も好ましいが、これは必須ではなく、例えばインターネットプロバイダサービスを利用して一時的にインターネットに接続する構成であってもよい。また、インターネット接続の方式としては、ケーブルテレビの配信用ケーブルを利用したシステムに限らず、一部に無線を利用した無線方式や、既設の電話回線を利用したADSL方式、光ファイバーを利用した光ファイバー方式等、いかなる方式であってもよく、要は、サーバーとクライアント端末とが電気通信回線を介して接続されればよいものである。

【0029】(2)上記実施形態では、情報受付手段をインターネットに接続された受付サーバーによって構成したが、これに限らず、例えば図8に示すようにファクシミリによる自動受付を可能にする構成を付加してもよい。これは、公衆電話回線に接続されたファクシミリ受信手段41を設けており、これは情報提供者から送信された情報を所定フォーマットの画像ファイルとして出力する機能を有する。そして、この画像ファイルを受けて文字認識手段42が文字を認識して電子化された文字コードを出力し、これが広告情報データベース36に蓄積されるようにしている。その他の構成は上記実施形態と同様であり、同一部分に同一符号を付して重複する説明

を省略する。この構成とすれば、例えばデータ量が多い画像、音声、動画ファイル等は配信事業者が作成し、広告主はその他のデータ量が少ない情報を例えば定形フォームに記入することによりファクシミリを利用して送信することができるから、広告主が広告情報の更新や追加等をファクシミリを利用して行うことができるようになる。なお、ファクシミリ受信手段41にて受信した画像情報をそのまま広告情報の一部として配信するようにしてもよい。

【0030】(3) 上記実施形態では、配信すべきクライアント端末を決定するための情報選別条件は、利用者が「好みの広告種別」や「好みの広告主」等として予め登録した条件としたが、これに限らず、例えば利用者が広告情報データベースから引き出した広告情報の広告種別や広告主を利用者毎に記録しておき、その頻度が高いものをその利用者の好みの広告種別や好みの広告主とみなしてそれを配信するようにしてもよい。

【0031】(4) 上記実施形態では、情報提供者から情報が送信されると配信ルーチンを実行して広告開始日時に達した時点で広告情報の配信を行うようにしたが、これに限らず、例えば、情報提供者から情報が送信されると直ちにその新規情報をクライアント端末に配信するようにしてもよい。要は、情報提供者から情報が送信されたことをトリガーとして情報蓄積手段に蓄えられた情報を配信すればよいものである。情報提供者から情報が送信されて直ちに配信を行う場合には、配信後直ちにクライアント端末のディスプレイに表示してもよいし、或いは、広告開始日時が指定されている場合には、その日時に達したか否かをクライアント端末側のクライアントソフトによって監視し、その日時に達した時点でディスプレイに表示する構成としてもよい。このようにすると、サーバー側における広告開始日時の監視が不要となるから、サーバーの負担が少なくなるという利点がある。

【0032】(5) 上記実施形態では、サーバー側から配信された情報をクライアント端末のディスプレイに表示する態様のみを例示したが、これに限られず、音声情報を配信してクライアント端末においてそれを再生する構成であってもよい。音声情報を配信する場合には、クライアント端末に音声通話用のハンドセットを設け、通

常の音声電話と同様な使い勝手を実現したVoIP技術を利用することもできる。

【0033】(6) その他、配信する情報は広告情報に限らず、例えばコミュニティのイベント情報や特定グループの閲覧用情報であってもよい。

【0034】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、情報提供者による情報の更新(新規提供)があったことをトリガーとして情報の配信が行われるから、情報配信がタイムリーになり、期間限定性や地域限定性が高い情報の配信に適する情報配信方法及びそのシステムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 システムの全体図

【図2】 配信事業者側のサーバー群のブロック図

【図3】 広告情報データベースのデータ構造を示す図

【図4】 顧客情報データベースのデータ構造を示す図

【図5】 クライアント端末のブロック図

【図6】 出稿用端末における動作を示すフローチャート

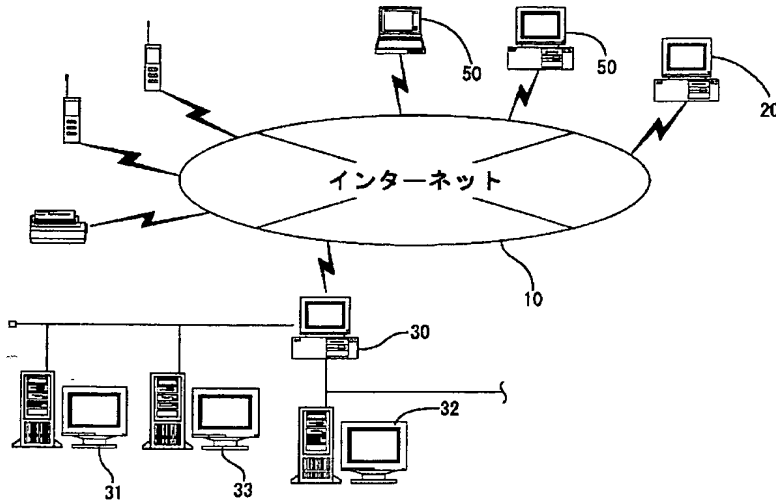
【図7】 配信サーバーの配信ルーチンを示すフローチャート

【図8】 異なる実施形態を示すサーバー群のブロック図

【符号の説明】

- 10……インターネット(電気通信回線)
- 20……出稿用端末
- 31……受付サーバー
- 32……データベースサーバ
- 33……配信サーバ
- 34……認証手段
- 35……情報受付手段
- 36……広告情報データベース
- 37……顧客情報データベース
- 38……更新検出手段
- 40……情報選別手段
- 41……ファクシミリ受信手段
- 42……文字認識手段
- 50 クライアント端末

【図1】

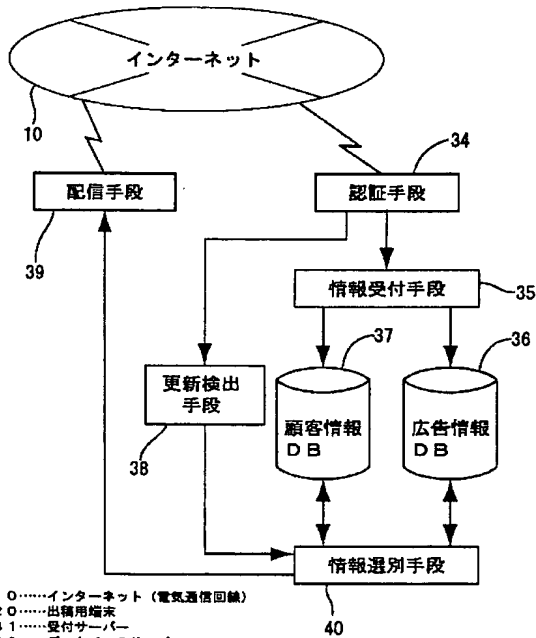


【図3】

広告情報データベース

広告主コード	
広告種別1	
.....	
配信開始日時	
配信終了日時	
配信希望地域	
広告タイトル	
広告情報	
関連情報	

【図2】



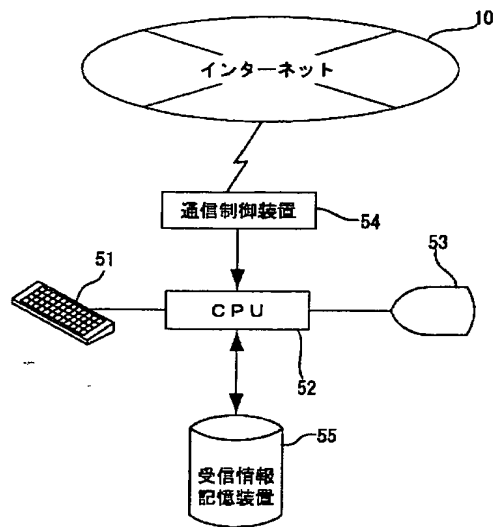
【図4】

顧客情報データベース

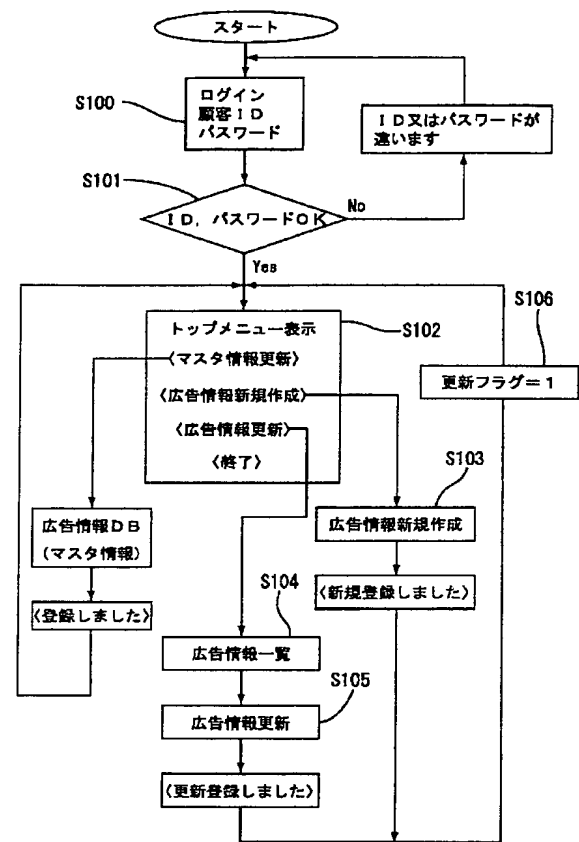
顧客ID	
パスワード	
IPアドレス	
メールアドレス	
氏名	
生年月日	
住所	
電話番号	
FAX番号	
職業区分	
趣味区分	
配信希望地域	
好みの広告種別1	
.....	
好みの広告主1	
.....	

- 10.....インターネット（電気通信回線）
- 20.....出稿用端末
- 31.....受付サーバ
- 32.....データベースサーバ
- 33.....配信サーバ
- 34.....認証手段
- 35.....情報受付手段
- 36.....広告情報データベース
- 37.....顧客情報データベース
- 38.....更新検出手段
- 40.....情報選別手段
- 41.....ファクシミリ受信手段
- 42.....文字認識手段
- 50 クライアント端末

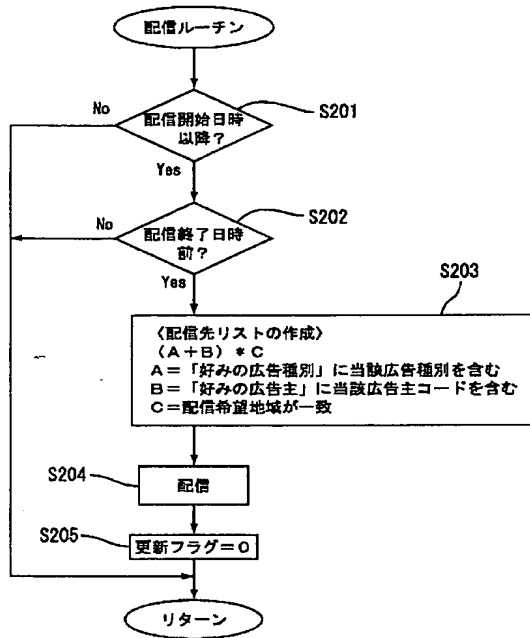
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】

